

1 経営的特徴と導入方法

ソリタゴは、長日開花性で、繁殖力が強く省力的な品目である。しかし、露地栽培の場合、開花期は短期間に集中するので、出荷労力のために1作型の規模が限定される。そのため、安定生産と経営規模拡大には、刈り込みや電照などによる作期拡大を図る必要がある。

2 生理生態的特性と適応性

(1) 原産と来歴

ア 原産

ソリダゴはキク科ソリダゴ属の宿根草で、従来わが国ではオオアワダチソウ (*Solidago serotina*) とカナダアキノキリンソウ (*S. canadens*)、およびその改良種が、花壇や切り花用として栽培されていた。

(2) 生理生態的特性

ア 生育特性

ソリダゴは開花した後、秋の低温・短日条件でロゼット化して越冬し、翌春の気温の上昇により抽台して開花する。耐寒性は比較的強く露地でも十分越冬する。

イ 生育・花芽分化発達と日長・温度

ソリダゴは長日で花芽分化し、6～7月に開花する長日開花性の花きである。

一方、ソリダゴの温度に対する反応はソリダスターとはほぼ同様と考えられる。以下、温度の反応はソリダスターでの知見である。最低温度が10～13℃以下では抽台しにくい、日長との関係が深く、冬季の最低温度が10℃程度でも3～4時間の電照を行えば抽台する。しかし、1番花を採花した後、比較的溫度が高くても抽台しにくく、この場合も電照により容易に抽台する。このように日長条件の影響が大きい、栽培上は最低温度10℃以上が望ましい。

(3) 本県での適応性

低温でも栽培でき、耐寒性も強く本県には適合する。

3 作型と品種

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地普通栽培				※	—————		□					
露地普通栽培(刈り込み)				※	- ×	—————		□				
				※	— ×	—————		□				

※：株分け・定植

×：刈り込み

(1) 作 型

本県で行われている作型及び適合すると考えられる作型を表に示した。一般的には4月に株分けを行って定植するが、これだけだと切り花が集中するため時期を変えて刈り込みを行い切り花期を拡大する。4～5月の刈り込みでは、電照の必要はなく刈り込み後80日前後で開花する。

(2) 品 種

ソリダゴの代表的な品種は「タラ」である。この品種はソリダゴの中で最も早生でボリュームがでやすく、色あせしにくい。



タ ラ



タラゴールド

4 栽 培

(1) 育 苗

苗の繁殖には株分けと挿し芽がある。株分けは4～5芽つけて行うが、生育は非常におう盛で地際部には多数の芽がついているので容易に行える。挿し芽は挿し穂を4～5cmに調製し、パーライト、川砂、赤土などに3×1cm程度の間隔でさす。さし芽苗では採穂位置が高いと摘心後に伸長する側枝が低節位で開花することがあるので注意する。

(2) 定植準備・施肥

堆肥をa当たり200kg、基肥として窒素、りん酸、加里を各々1～1.5kg施用する。なお、肥料は多すぎると切り花の品質を落とすので多肥にはしない。畦は床幅50cm、通路60cm程度とする。

(3) 定 植

栽植密度は条間30cm、株間25cmの2条植え程度とするが、一年で植えかえるか据え置かによって異なり、据え置く場合には株間をやや広くするか、翌年は一株ずつ間引くとよい。据え置いた株は大きくなり萌芽数が多くなるので、十分に芽整理を行わないと切り花のボリュームが不足する。

(4) 定植後の管理

ア 摘心

株分け苗、据置株では、開花時期を遅らせる場合に、開花予定の80～90日前に低い位置で摘心（刈り込み）を行う（表1）。

表1 刈り込み時期及び電照が生育開花に及ぼす影響（平3 野菜茶試）

電照	刈り込み (月日)	切花日 (月日)	切花長 (cm)	節数	分枝数	切花重 (g)
無	無	7.13	72	30	38	68
	5.1	7.28	73	24	39	90
	5.20	8.7	75	20	36	83
	6.10	8.24	59	10	36	45
	6.30	9.17	55	13	37	47
	7.20	10.15	50	8	37	44
	2番花	11.2	45	12	30	28
有	無	7.12	84	31	33	68
	5.1	7.18	68	20	31	46
	5.20	8.3	70	18	32	47
	6.10	8.24	70	15	34	40
	6.30	9.17	61	11	37	49
	7.20	10.11	65	12	36	40
	2番花	10.25	80	15	30	50

注) 4月15日株分け、電照は刈り込み日から6週間、
pm10:00～am2:00まで行った。
2番花は刈り込み無し区の2番花

イ 整枝

摘心後ほう芽してきた側枝が10～15cm前後になったら株分け苗では10本前後に仕立本数を整理する。

ウ ネット

倒伏や曲がりを防止するために15～25cmますのネットを張る。

5 主要病害虫とその防除対策

(1) 病害

シロクジャク、アスターの項を参照する。

(2) 虫害

ヨメナスジハモグリバエが葉に寄生するが、他の害虫も含めて県内では不明な点が多い。

6 収穫・調製・出荷

(1) 切り前

つぼみが十分黄色に着色したら切り花する。温度が高いときは開花速度がはやいのでやや早めに採花する。

なお切り前は出荷先の市場及び季節で違うので確認する。

(2) 収 穫

地際部で刈り取る。

(3) 調 製

規格別に切りそろえ、下葉をかき落とし10本1束で結束する。

(4) 出 荷

10束を1箱として出荷する。

参考・引用文献

- 1) 吾妻浅男、「農業技術体系花卉編9 宿根草」、農山漁村文化協会、(平成6年)
- 2) 長野県、長野県農協中央会、長野県経済連、「花き栽培指標」、(平成10年)
- 3) 宮城県、「みやぎの花き栽培指導指針」、(平成12年)

ソリダゴ栽培ごよみ

月	旬	生育 状況	作 業	栽 培 の 要 点	摘 要																
1	上			1 作 型 <table border="1" data-bbox="443 338 1198 517"> <thead> <tr> <th>作 型</th> <th>定植時期</th> <th>刈り込み時期</th> <th>収穫時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>露地普通</td> <td>4月中旬</td> <td>—</td> <td>7/上～7/下</td> </tr> <tr> <td>露地普通(刈り込み)</td> <td>4月中旬</td> <td>5月上旬</td> <td>7/中～8/上</td> </tr> <tr> <td>露地普通(刈り込み)</td> <td>4月中旬</td> <td>5月下旬</td> <td>8/上～8/中</td> </tr> </tbody> </table>	作 型	定植時期	刈り込み時期	収穫時期	露地普通	4月中旬	—	7/上～7/下	露地普通(刈り込み)	4月中旬	5月上旬	7/中～8/上	露地普通(刈り込み)	4月中旬	5月下旬	8/上～8/中	
	作 型				定植時期	刈り込み時期	収穫時期														
	露地普通				4月中旬	—	7/上～7/下														
露地普通(刈り込み)	4月中旬	5月上旬	7/中～8/上																		
露地普通(刈り込み)	4月中旬	5月下旬	8/上～8/中																		
中																					
下																					
2	上			2 品 種 代表的な品種としては「タラ」がある。																	
	中																				
	下																				
3	上		芽株分け・定植	3 栽 培 (1) 育 苗：苗の繁殖には株分けと挿し芽がある。株分けは4～5芽つけて行う。挿し芽は、挿し穂を4～5cmに調製し、パーライト、川砂、赤土などに3×1cm程度の間隔でさす。	さし芽苗では採穂位置が高いと摘心後に伸長する側枝が低節位で開花するので注意する。																
	中																				
	下																				
4	上	活着	整 枝	(2) 定植準備：堆肥をa当たり200kg、基肥として3要素とも成分で1～1.5kg/a程度施す。なお、多肥にはしない。畦は床幅50cm、通路60cm程度とする。																	
	中																				
	下																				
5	上	茎伸長		(3) 定 植：栽植密度は条間30cm、株間25cmの2条植え程度とする。据え置き場合には株間をやや広くするか、翌年は一株ずつ間引く。																	
	中																				
	下																				
6	上	開花	切り花	(4) 定植後の管理 ア 摘 心：株分け苗、据え置き株では、開花時期を遅らせる場合に、開花予定の80～90日前に低い位置で摘心(刈り込み)を行う。 イ 整 枝：摘心後萌芽してきた側枝が10～15cm前後になったら株分け苗では10本前後に仕立て本数を整理する。 ウ ネット張り：倒伏や曲がりを防ぐために、15～25cmますのネットを張る。	出荷先や時期で違うので確認する。																
	中																				
	下																				
7	上			4 収穫・調製・出荷 (1) 切り前：つぼみが十分黄色に着色したら切り花する。温度が高いときは開花速度がはやいのでやや早めに採花する。																	
	中																				
	下																				
8	上			(2) 収 穫：地際部で刈り取る。																	
	中																				
	下																				
9	上			(3) 調 製：規格別に切り揃え、下葉をかき落とし10本1束に結束する。																	
	中																				
	下																				
10	上			(4) 出 荷：10束を1箱として出荷する。																	
	中																				
	下																				
11	上																				
	中																				
	下																				
12	上																				
	中																				
	下																				